



## 第44回例会報告(5月28日)

## 【出席報告】

・会員数	54名	・出席数	29名	・欠席数	25名
・当日出席率	67.44%	・前々回修正出席率	100%	20回目	

<欠席会員> 原(竜)、檜垣(俊)、檜垣(巧)、飯、菅、近藤(正)、松田、村上(裕)、越智(務)、大澤、竹田、渡辺(易)、矢野、横井

[免除会員] 青野、原(真)、原田、門田、松本、宮本、村上(敬)、野間、高木、坂本、八木

<5/14欠席補填> (5/12IAC)松田 (5/18今治北)檜垣(俊)、檜垣(巧)、平井、川上、近藤(正)、久米、尾越、竹田、渡邊(一)、吉武

会長報告・5月22日(金)に、重松幹事、西本社会奉仕委員長とあすなる学園に10万円の寄付をして参りました。お礼の手紙が届きました。

幹事報告・先日ご協力頂きました緑の募金は、総額9,210円となりました。

## 世界社会奉仕委員会アワー

今治国際交流協会 真鍋力子様 「私の出会った韓国の人たち」

私が韓国人に日本語の指導を依頼されたのは、学校を退職後、国際交流協会に入ったことから始まった。上級の日本語を指導して欲しいとのことで、新聞のコピーを読む練習をしたが難しかった。小学校の教科書を発音に気をつけながら音読を続けた。漢字の読み書き、意味、どんな場面で使うかなどを指導した。発音で難しいのは「ツ」でどうしても「チュウ」になるのでハングル文字を書き、近い形で正していった。授業の合間に雑談しているうちに「宋仁淑」さんが共通の知人であることが分かった。

H 17年日本の会社に勤務する父親が奥さんと二人の子供を呼び寄せ2学期から日吉小学校に来ることになった。地域の子供たちと引き合わせたいと考え、縁日に誘った。子供達は友好的ですぐ身振り手振りで遊びに行く約束ができていた。小規模校なので教頭の空いている時間を二人の日本語指導に当て私も応援に回った。母親は毎日学校に来て、教室の後ろに座り、家で教科書の内容を韓国語で理解させていた。日曜日には教会へ行きそこで日本語を会得したようである。半年もたつと日常生活をする上では問題ないほど日本語を習得してきた。学校・地域の行事にはよく参加をし、母親学級では「チジミ」の料理講習をするほどとなった。その陰には学級 PTA、地区理事さんの働きがあった。その後下の子が卒業するに伴い岡山に転勤となった。が、通知表の成績評価に納得がいかないという電話があり学校への連絡・相談などアドバイスをした。次の日には担任がきて相談、公立高校に合格したそうです。今冒頭のように指導をしている彼女らは日本語能力試験に向け頑張っています。目標を持って習おうとする姿勢に協力を惜しみません。外国の人からも今治に来て良かったと言ってもらえるような街にしていきたいと思っています。



<ゲスト> 今治国際交流協会 真鍋力子様

株式会社愛媛銀行今治支店長 山本恵三氏

## 次回例会(6月4日)

## 【職業奉仕委員会アワー】

<会員誕生祝> 矢野 暢生氏(6/5)  
 <夫人誕生祝> 松本 篤氏(6/8)  
 <入会記念祝> 松木 徹夫氏(6/4) 渡邊 道信氏(6/4)  
 <結婚記念祝> 渡辺 易廣氏(6/10)

[ 笹 ]